

「情報通信フロンティアセミナー」を開催

＜東海地域における周波数資源開発と新たな無線システムの普及促進へ＞

東海総合通信局(局長 北林 大昌(きたばやし だいすけ))は、令和4年7月4日、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰(いわた あきら)名古屋工業大学名誉教授)との共催により、「情報通信フロンティアセミナー」を開催しました。

本セミナーは、電波の効率的な利用と新たな無線システムの普及促進を目指してWeb配信により開催したもので、昨年度当局が実施した「地域自営IoT無線システムの社会実証に向けた調査検討会」の検討結果の報告や、「高専ワイヤレスIoTコンテスト2021」の受賞校の成果発表など、東海地域における周波数資源開発に向けた取組を紹介しました。参加者は48名でした。

第1部 無線ネットワークを活用した地域のデジタル化推進に関する取組



「ゴミ収集のスマート化からはじまる地域DXの推進」
名城大学 情報工学部情報工学科
准教授 鈴木 秀和 氏



「自営IoT無線による地域デジタル変革の研究」
一般社団法人全国自動車無線連合会
専務理事 岡崎 邦春 氏

第1部では、名城大学の鈴木准教授から「ゴミ収集のスマート化からはじまる地域DXの推進」と題して、無線技術を活用したスマート化の方策についてご講演をいただき、続いて、全国自動車無線連合会の岡崎専務理事から「自営IoT無線による地域デジタル変革の研究」と題して、昨年度実施した調査検討会の結果と今年度予定している技術試験の概要についてご説明をいただきました。

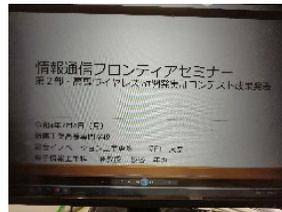
第2部では、高専ワイヤレスIoTコンテストの運営事務局である株式会社サイバー創研から、これまでの採択状況や全国の受賞校の成果発表会について報告をいただいたのち、同コンテストで「魔法の土鍋大賞」を受賞した鈴鹿工業高等専門学校、「海洋SDGs大賞」を受賞した鳥羽商船高等専門学校から、それぞれの研究成果の発表をいただきました。

当局では、引き続き電波の効率的な利用と新たな無線システムの普及促進に向けた取組を進めていきます。

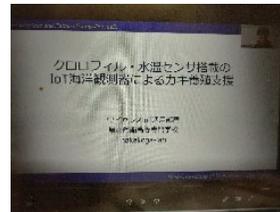
第2部 高専ワイヤレスIoTコンテスト2021の成果発表



「高専ワイヤレスIoTコンテスト2022 (WiCON2022) について」
株式会社サイバー創研
エンジニアリング事業部門
担当部長 佐野 浩一 氏



「三重ブランド「四日市萬古焼」から和食文化の魅力を発信」
鈴鹿工業高等専門学校
長田 大空 氏
准教授 板谷 年也 氏



「クロロフィル・水温センサー搭載のIoT海洋観測器による牡蠣養殖支援」
鳥羽商船高等専門学校
井上 仁 氏
助教 中古賀 理 氏

お問合せ先 : 電波利用企画課 052-971-9143



開会挨拶
東海総合通信局
局長 北林 大昌



開会挨拶
東海情報通信懇談会
電波部会
部会長 片山 正昭
(名古屋大学教授)



開会挨拶
東海総合通信局
無線通信部長
伊藤 泰久